高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　国語　科目 文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

使用教科書：　高等学校　文学国語（筑摩書房）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めてたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「情報の彫刻」（原研哉） 【知識及び技能】・「情報の彫刻」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・　「情報の彫刻」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かする。・「情報の彫刻」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「情報の彫刻」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「情報の彫刻」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「情報の彫刻」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】・「情報の彫刻」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「情報の彫刻」と他の作品を比較したり、紙の書籍と電子メディアを比較したりするなどして、文体の特徴や効果について考察する。・「情報の彫刻」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「情報の彫刻」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持ち、・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深める。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①筆者は紙の書籍の魅力などのような点にあると考えているか、読み取る。 ②電子メディアの普及により文学作品を読む行為にどのような変化が生じてくるか、同じ一つの作品を、紙の書籍と電子メディアとで読み比べ、話し合う。			○	【知識及び技能】・「情報の彫刻」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「情報の彫刻」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「情報の彫刻」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「情報の彫刻」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「情報の彫刻」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】・「情報の彫刻」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「情報の彫刻」と他の作品を比較したり、紙の書籍と電子メディアを比較したりするなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「情報の彫刻」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「情報の彫刻」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	「山月記」（中島敦） 【知識・技能】・「山月記」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「山月記」を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「山月記」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深める。・「山月記」における漢文調などの文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら物語などを書く際に使う。・「山月記」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「山月記」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「山月記」を参考に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。・「山月記」を参考に、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。・「山月記」を参考に、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。・「山月記」を参考に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	①フィクションの世界だからこそ際立つ人間の姿を読み取る。 ②漢文調のリズムを味わう。 ③作中人物のやり取りに注目し、小説の中の会話の表現方法を理解する。 ④月を描いた場面を本文中から抜き出し、それぞれがどのような効果をあげているか、話し合う。 ⑤この作品と同じように、変身を題材とした「変身譚」を探し、その内容をノートにまとめる。		○		【知識・技能】・「山月記」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「山月記」を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「山月記」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。・「山月記」における漢文調などの文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら物語などを書く際に使っている。・「山月記」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「山月記」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「山月記」を参考に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。・「山月記」を参考に、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。・「山月記」を参考に、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。・「山月記」を参考に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	「パイリンガリズムの政治学」（今福龍太） 【知識・技能】・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「パイリンガリズムの政治学」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら紀行文などの文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「パイリンガリズムの政治学」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら紀行文などの文章をまとめる際にそれらを使う。・「パイリンガリズムの政治学」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「パイリンガリズムの政治学」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「パイリンガリズムの政治学」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①「道路標識」を筆者はどのように分析しているか、読み取る。 ②筆者が目指している「新たな表現」とはどのようなものか、考える。 ③日常で「境界」の存在を感じる場面を挙げ、その境界を動かしたり、崩したりすることでどのようなことが見えてくるか、話し合う。 ④よその土地や外国への旅で直面する困難について、具体的に想定しながら、800字程度のエッセイを書く。			○	【知識・技能】・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「パイリンガリズムの政治学」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら紀行文などの文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「パイリンガリズムの政治学」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら紀行文などの文章をまとめる際にそれらを使っている。・「パイリンガリズムの政治学」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「パイリンガリズムの政治学」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「パイリンガリズムの政治学」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「パイリンガリズムの政治学」の読解を通して、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	4
	「メディアと倫理」（和田伸一郎） 【知識・技能】・「メディアと倫理」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「メディアと倫理」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「メディアと倫理」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「メディアと倫理」を通して、映像メディアと文学作品の表現の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「メディアと倫理」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「メディアと倫理」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「メディアと倫理」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「メディアと倫理」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。・「メディアと倫理」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「メディアと倫理」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、この評論の背景や、写真とテレビの特徴の違いを踏まえ、作品の解釈を深める。・「メディアと倫理」の内容【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①本文を通して映像メディアと接する際の留意点を理解することを通し、文学作品特有の表現力について考える。 ②小川洋子「死者の声を運ぶ小舟」で取り上げられている広島で被爆した「折免詣君の弁当箱と水筒」の写真に「『今日は大豆ご飯だから、昼飯が楽しみだ。』と言って出かけたという。」というキャプションが付されていたら、受け止め方はどう変わるか、考える。 ③原民喜の詩『コレガ人間ナノデス』を読み、文字の描写が与える衝撃などについて、写真やテレビの特徴と比較しながら話し合う。			○	【知識・技能】・「メディアと倫理」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「メディアと倫理」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「メディアと倫理」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「メディアと倫理」を通して、映像メディアと文学作品の表現の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「メディアと倫理」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「メディアと倫理」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「メディアと倫理」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「メディアと倫理」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「メディアと倫理」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「メディアと倫理」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、この評論の背景や、写真とテレビの特徴の違いを踏まえ、作品の解釈を深めている。・「メディアと倫理」の内容【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

2学期	「こころ」（夏目漱石） 【知識・技能】・「こころ」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「こころ」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。・「こころ」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「こころ」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「こころ」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「こころ」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「こころ」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「こころ」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「こころ」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを追う。 ②人物のようすに留意して、物語を立体的に捉える。 ③「こころ」全編を読み、800字程度の感想文を書く。			○	【知識・技能】・「こころ」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「こころ」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。・「こころ」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「こころ」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「こころ」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「こころ」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「こころ」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「こころ」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「こころ」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10
	「死者の声を遮ぶ小舟」（小川洋子） 【知識・技能】・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「死者の声を遮ぶ小舟」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「死者の声を遮ぶ小舟」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「死者の声を遮ぶ小舟」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「死者の声を遮ぶ小舟」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「死者の声を遮ぶ小舟」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。・「死者の声を遮ぶ小舟」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「死者の声を遮ぶ小舟」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、教材で挙げられた作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、文学作品の解釈を深める。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①「文学の力」について、筆者の主張を読み取る。 ②本文中に例として挙がっている文学作品の中から一冊を選んで読み、感想を800字程度でまとめる。 ③本文は英語で発表されたが、本文を英語で語る意義について話し合う。			○	【知識・技能】・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「死者の声を遮ぶ小舟」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「死者の声を遮ぶ小舟」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「死者の声を遮ぶ小舟」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「死者の声を遮ぶ小舟」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「死者の声を遮ぶ小舟」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「死者の声を遮ぶ小舟」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「死者の声を遮ぶ小舟」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、教材で挙げられた作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、文学作品の解釈を深めている。・「死者の声を遮ぶ小舟」の読解を通して、文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	「論語―私の古典」（高橋和巳） 【知識・技能】・「論語―私の古典」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「論語―私の古典」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「論語―私の古典」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「論語―私の古典」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「論語―私の古典」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「論語―私の古典」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「論語―私の古典」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「論語―私の古典」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「論語―私の古典」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「論語―私の古典」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。・「論語―私の古典」の読解を通して、古典や文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①『論語』がいかにして内部から筆者を励ます「私の古典」となったのかを読み取る。 ②教科書に示された『論語』の文章について、意味を調べ、記された背景を想像しながら物語としてまとめる。			○	【知識・技能】・「論語―私の古典」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「論語―私の古典」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「論語―私の古典」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「論語―私の古典」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「論語―私の古典」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「論語―私の古典」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「論語―私の古典」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「論語―私の古典」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「論語―私の古典」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「論語―私の古典」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「論語―私の古典」の読解を通して、古典や文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
	「能　時間の様式」（杉本博司） 【知識・技能】・「能　直の様式」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「能　直の様式」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「能　直の様式」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「能　直の様式」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「能　直の様式」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「能　直の様式」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「能　直の様式」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「能　直の様式」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。・「能　直の様式」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「能　直の様式」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。・「能　直の様式」の読解を通して、古典や文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①写真や能を通して感得した筆者の論旨を読み取り、考えを深める。 ②「カーナーボーン卿に向かって訴えかけていた」とあるが、訴えた内容とその理由を話し合う。 ③「落花枝に帰らず、……業因かな。」という能「屋島」の引用を現代語に訳し、なぜ筆者がこの部分を引用したのか、話し合う。			○	【知識・技能】・「能　時間の様式」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「能　時間の様式」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「能　時間の様式」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「能　時間の様式」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「能　時間の様式」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「能　時間の様式」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「能　時間の様式」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「能　時間の様式」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「能　時間の様式」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「能　時間の様式」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「能　時間の様式」の読解を通して、古典や文学作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1

3学期	漢込め（目取間俊） 【知識・技能】・「漢込め」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「漢込め」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「漢込め」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深める。・「漢込め」の読解における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「漢込め」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「漢込め」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「漢込め」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「漢込め」の読解を通して、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。・「漢込め」と他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。・「漢込め」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「漢込め」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「漢込め」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとる。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①沖縄文学の中に表れることばと習俗、そして戦争の記憶を読み解く。 ②小説内の描写を手がかりに、沖縄戦や、沖縄独特の信仰について調べ、発表する。 ③沖縄のことばの使用が、この小説にどのような効果をもたらしているか、話し合う。			○	【知識・技能】・「漢込め」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「漢込め」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「漢込め」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。・「漢込め」の読解における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「漢込め」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「漢込め」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「漢込め」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「漢込め」の読解を通して、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。・「漢込め」と他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「漢込め」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「漢込め」に表れているものの見方、感じ方、考え方を深めている。・「漢込め」の構成や展開、表現の仕方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「漢込め」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	14
	「文学の仕事」（加藤周一） 【知識・技能】・「文学の仕事」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「文学の仕事」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・「文学の仕事」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「文学の仕事」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「文学の仕事」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「文学の仕事」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力・判断力・表現力】・「文学の仕事」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「文学の仕事」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「文学の仕事」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、ここで挙げられた作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。・「文学の仕事」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとする。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	①筆者が説く「文学」の役割を踏まえ、柔軟な視点で捉え直す。 ②「そのことを文学者が語らなければ誰も語らないと思うのです」とあるが、そこには筆者のどのような思いが読み取れるか、話し合う。 ③「文学の力」について、自分の考えを200字程度でまとめる。			○	【知識・技能】・「文学の仕事」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「文学の仕事」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「文学の仕事」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「文学の仕事」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「文学の仕事」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【思考力・判断力・表現力】・「文学の仕事」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「文学の仕事」の文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「文学の仕事」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、ここで挙げられた作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。・「文学の仕事」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう態度・人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。・言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6 合計 70
	定期考査									